

令和5年度 指定管理者モニタリング評価シート

施設所管課名 建設部公園管理課、港湾部港湾管理課

1 施設概要

施設名称	田浦梅の里ほか7箇所（衣笠山公園、光の丘水辺公園、太田和つつじの丘、しょうぶ園、野比かがみ田緑地、走水水源地公園、旗山崎公園） 浦郷みなと緑地ほか2箇所（西浦賀みなと緑地、久里浜みなと緑地）
指定管理者名	横須賀グリーンパーク共同事業体
指定期間	令和4年（2022年）4月1日～令和9年（2027年）3月31日（5年間）

2 総合評価

田浦梅の里ほか7箇所の各公園とも、基本協定書及び仕様書に基づき、全般的に適切な管理が行われている。また、施設の点検ならびに修繕、植栽管理を計画的に実施していた。修繕費等について、期中に予算にする対する実行額の進捗状況を報告するよう再三に渡り求めたが、提出されることはなかった。 また、修繕費や植物管理費等、お互いに協力し合うといった提案や意思が積極的に協議なされなかったことが残念であったため、ルール作りや改善が必要である。 浦郷みなと緑地ほか2箇所（西浦賀みなと緑地及び久里浜みなと緑地）では法令等を遵守し、誠実かつ積極的に業務を行った。 必要十分な連絡・相談を行っている。また、業務日報や帳票類の作成、整理及び保管は適切に行われた。 各施設とも、維持管理について計画的に実施し、市への報告や調整についても欠かさずに行った。 仕様書に定める水準どおりの巡回及び清掃、植栽剪定及び除草により、来園者が気持ち良く施設を利用できるよう整備を行い、良好な園内環境の維持管理に努めた。1年を通して行っているベンチの座板交換については、別の施設で不要になった木材を再利用するなど、創意工夫して施設の保全に努めた。 十分な人員配置のもと、適切な執行体制が取られた。 施設目的に沿って、公平な運営が行われた。 行為許可申請受付・許可業務についても、適切に行われた。 3みなと緑地の利用者に季節の花を楽しんでもらうために育てた菜の花は、生育途中で小動物による花壇の荒らしや、晴天が続いたことによる水不足といった課題を乗り越え、無事に開花して施設に彩りを添えた。 浦郷みなと緑地及び久里浜みなと緑地の遊具については、巡回時の日常点検のほか、専門業者による遊具点検を実施し、その結果を踏まえて安全な設備の提供に努めた。 西浦賀みなと緑地において、草の根による舗装ブロックの浮きあがりを補修し、来場者が安全に施設の利用ができるよう努めた。 以上より、一年を通して施設管理・運営は良好であった。
--

3 管理実績評価

評価項目	評価内容	施設所管課評価	
		評価	特記事項
法令遵守	○関連する法令、条例等を遵守して業務が行われているか。	B	
	○個人情報の保護措置や情報公開制度の適正な運用が確保されているか。	B	
施設管理	○条例や協定書等に基づき、開館日・開館時間等を遵守しているか。	B	
	○条例や協定書等に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われているか。	B	
	○条例や協定書等に基づき、使用料又は利用料金に係る手続きが適正に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設及び設備の保守点検等が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設の清掃業務が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設の警備業務が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、物品の管理が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設等の修繕業務が適切に行われているか。	C	田浦梅の里ほか7箇所では、必要な修繕は行っているが、大きな修繕となる前の細かな予防的修繕の実施が不十分と感じ積極的な提案を期待する。
	○協定書等に基づき、事業報告書等の書類が期限までに提出されているか。	C	田浦梅の里ほか7箇所では、提出期限内に提出されなかった。

	○施設管理を行う中で生じた施設課題に適切に対応しているか。	C	田浦梅の里ほか7箇所では、市に判断・指示を求める場面が目立ち、指定管理者に期待する民間としての創意工夫が発揮されていない。
利用者への配慮	○利用者間のトラブルや不適切な施設利用者への対応が適切に行われているか。	B	
	○利用者からの意見を聴取し、業務改善に活用しているか。	C	田浦梅の里ほか7箇所では、アンケートを行い利用者の声を積極的に収集していることは評価するが、現在では、そのフィードバックは行われておらず、その改善に期待する。
リスクへの対応	○事故や災害などの不測の事態への対応策が講じられているか。	B	
	○事故や災害などの発生時には、必要な措置を講じるとともに、速やかに市への報告がされているか。	B	
障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮	○障害者の雇用や障害者就労施設等からの物品購入などの障害者への配慮がされているか。	C	田浦梅の里ほか7箇所では、実績がないため。
	○性別による差別のない雇用やワークライフバランスの実現に向けた取組など男女共同参画への配慮がされているか。	B	
	○多様な性に関する差別やハラスメントの禁止に関する内規の整備や多様な性に関する研修の受講、多様な性も考慮した福利厚生 の提供、顧客や取引先など外部に向けた環境整備やサービスの取組など多様な性への配慮がされているか。	B	

地域貢献	○地元人材の雇用が行われているか。	B	
	○市内中小企業等への発注が行われているか。	B	
	○市内の団体・施設・企業等との連携が行われているか。	B	
	○その他の地域貢献が行われているか。	B	
障害者雇用※ ※雇用義務のある団体（従業員を43.5人以上雇用している団体）のみ評価	○障害者雇用率が法定雇用率（2.3％）を達成しているか。	B	
人員体制	○必要な人員が配置されているか。	B	
	○職員への研修等の人材育成は計画通りに実施されているか。	C	田浦梅の里ほか7箇所では、計画された研修の実施が行われていない。
	○人件費の設定は適切か。	B	
労働基準※ ※労働基準法上、作成又は届出義務のある団体のみ評価	○就業規則の労働基準監督署への届出がされているか。	B	
	○労働者に労働条件通知書を交付しているか。	B	
	○時間外・休日労働協定届（36協定届）の労働基準監督署への届出がされているか。	B	
	○社会保険や雇用保険に加入しているか。	B	
経費削減	○経費の削減の取組は行ったか。	B	
	○経費の削減分を活用して、市民サービスの向上などの取組を行ったか。	C	田浦梅の里ほか7箇所では、積極的な市民サービスを実施した実績は確認できない。
魅力的なイベント企画	○公園等の設置目的及び特徴に合った、魅力的な事業（継承の森イベント・花作りのための市民ボランティア等）が企画・提案されているか。	B	

樹木の樹勢回復	○樹木等を維持・管理するだけでなく、サクラやウメの樹勢回復など、将来にわたり良好な自然環境を保全していく技術や知識があるか。	B	
生物多様性に配慮した維持管理	○生物多様性に配慮した管理を実施していくための提案がなされているか。	B	
閑散期の集客	○しょうぶ園においてはレストラン及び売店を通年営業し、入園料及び駐車場利用が無料であるオフシーズン（7月～3月）においても集客が見込める事業内容（提供する食事や販売する土産品等）が企画・提案されているか。	B	
地元との連携	○地元の各種イベントへの協力及び地元団体(観光協会、ボランティア団体等)との連携が見込めるか。	B	

評価	判定基準
A	協定書等※に定める水準を上回っている。
B	協定書等※に定める水準どおりである。
C	協定書等※に定める水準に達していない。

※協定書等…基本協定書、年度協定書、仕様書、募集（申請）要項及び事業計画書のことをいう。

4 収支状況評価

田浦梅の里で、倒木等の植物管理が増加したことにより、本協定の収支がマイナスとなったが、概ね予算通り執行できている。軽微な修繕及び是正は、指定管理者が直接行い予算を抑えている。

浦郷みなと緑地ほか2箇所（西浦賀みなと緑地及び久里浜みなと緑地）の収支状況は当初計画どおりであり、市民サービスの提供にも問題はなかった。管理運営に要する経費は施設の良好な維持管理のために支出されており、その収支は適正と認められた。当初計画どおりの管理運営が次年度においても期待できる。